

調査票1 目標指標の解説

整理番号	目標指標	説明・算定式・把握方法
1	健康づくり応援参加宣言参加人数	健康づくりへの取組みを個人、企業、グループ、家族などで宣言してもらい「健康づくり応援宣言」への参加人数。年130人程度の増加を見込み5,000人の参加を目指すとともに、企業などに対して新たな参加を促していきます。
2	特定健康診査受診率	国民健康保険加入者の特定健康診査の受診率。「特定健康診査等実施計画」(平成25年度(2013年度)～平成29年度)及び実績値に基づいた目標値を目指します。
3	がん検診受診率	がん検診の受診率。「第2次みんなで進めるいぬやま健康プラン21計画」(平成26年度～平成35年度)及び実績値に基づいた目標値を目指します。
4	妊婦健康診査の平均受診回数	妊娠初期から出産までに受診する健康診査回数。国により健診を受けることが望ましいと示された回数を目指します。
5	MR予防接種率	生後12か月から24か月までと小学校就学前1年間を対象とする接種率。麻疹排除に向けて国の取組みでの目標接種率の維持を目指します。
6	高齢者インフルエンザ予防接種率	65歳以上の高齢者のインフルエンザ予防接種率。インフルエンザのり患者を減らすために今後さらなる接種率の向上を図り、目標接種率60%を目指します。
7	尾北看護専門学校卒業生の管内就職率	尾北看護専門学校卒業生の管内医療機関への就職率。尾北看護専門学校を支援することで、地域医療の重要な担い手として看護師の育成を図り、管内就職率50%を目指します。
8	第2次及び第3次救急医療機関	地域診療所の後方支援の役割を担う圏域での第2次及び第3次救急医療機関の数。尾張北部地域では、社会医療法人志聖会総合犬山中央病院(第2次)、医療法人医仁会さくら総合病院(第2次)、愛知県厚生農業協同組合連合会江南厚生病院(第3次)が第2次及び第3次救急医療機関として指定されており、今後も医療機関の充実や病診連携の強化の継続を目指します。
9	休日急病診療所開設日数	年間の日曜日、国民の祝日、年末年始に休日急病診療所を開設した日数。休日における地域医療の確保として、引き続き一般社団法人尾北医師会と協力して休日急病診療所の開設を図っていきます。
10	消防署の運用救命士の配置	救急搬送体制を担う救急救命士の数。3台の救急車に常時2人の救急救命士が乗車していることが可能となる数を目指します。
11	犬山市の行政全般に対する市民満足度(CS)	市役所への来庁者に対するアンケートで『犬山市の行政全般について満足していただいていますか。』の設問に対して「はい」と回答した市民の割合。実績値の上昇を目指します。
12	消費生活相談の開設日数	消費生活相談の開設日数。近年、消費生活にかかる相談は多分野にわたり複雑化していることや相談業務の継続性の対応の充実のため、現在の週2日の開催から、週4日の開催を目指します。
13	現在の公共施設量(延床面積)からの削減割合	犬山市公共施設マネジメント※基本計画では、平成27年度から数えて15年目の平成41年度末までに、全公共施設の施設量(延床面積)を20%削減することを目標としており、この間の年度あたりの平均値として6年間で8%の削減を目指します。
14	近隣市町との総合的な調査研究機会	近隣市町との総合的な調査・研究や意見交換などを実施した回数。広域にわたる分野が特定できない総合的な課題への対応を目的とするため、年間6回以上継続的(会議開催、情報共有など)に実施することを目指します。
15	広報紙などによる市政運営状況の積極的な発信	広報紙やホームページなどによる市政情報の発信。年間1回の増加を設定し、積極的な発信を目指します。
16	公式ホームページのアクセス件数(月平均)	公式ホームページの月間平均アクセス件数。実績値に対して毎年1,600件の上昇を目指します。

調査票1 目標指標の解説

整理番号	目標指標	説明・算定式・把握方法
17	財政調整基金残高 (年度末時点)	財政調整基金は家庭における預貯金に相当し、年度間における財源調整機能に加え、経済情勢の著しい変動により市税収入が著しく減少した場合や、災害による減収や復興に要する臨時的な対応に備えるためにも一定の蓄えが不可欠です。平成27年度(2015年度)決算における県内の類似団体※(合併市を除く)の概ね平均値を目指します。
18	一般会計の市債残高 (年度末時点)	市債には、国の制度によるものや、世代間負担の公平性を確保するために市の判断で発行するものがあります。いずれも必要なものとはいえ、その返済は財政の硬直化の一因となり、近年ではその残高が増加し続けています。市債の対象となる事業の見極めとともに、市債の種類などを総合的に判断し、その発行を抑制することで、市債残高の着実な減少を目指します。
19	ふるさと犬山応援寄附金 (ふるさと納税)、行政財産 の活用等による資金調達	ふるさと犬山応援寄附金のさらなる獲得のほか、新たな広告(活用)媒体の追加や価格設定の見直しなどにより、市の努力の成果が如実に表れる収入(何もしなければ得難い収入)について、平成27年度(2015年度)決算額から100%の増加を目指します。
20	ガバメントクラウドファンディングによる資金調達を実施 する事業数(累計)	木曾川うかいや東之宮古墳などの文化財関連事業といった犬山市ならではの事業について、ガバメントクラウドファンディングによる資金調達を毎年度1事業以上実施します。
21	行政との協働事業数	市民活動団体の育成等を目的とした事業委託の総事業数。策定当初の現状値に対して年間1事業の増加を目指します。
22	コミュニティ推進協議会へ の町内会加入率	コミュニティ推進協議会の設立地区において加入している町内会の割合。広報紙などを活用したコミュニティ活動の情報提供やコミュニティ活動の環境整備に努め、加入町内会の増加を目指します。
23	コミュニティ推進協議会の 総数	市内のコミュニティ推進協議会の総数。計画最終年度までに基本となる小学校区全地区を対象にコミュニティ推進協議会の設立を目指します。
24	姉妹都市交流事業の実施 数	姉妹都市交流事業の数。市民グループ主体の新たな交流事業の増加を目指します。
25	国際交流ボランティアグル ープの数	国際交流を行っているボランティアグループの数。ボランティアグループ数の増加を目指します。
26	国際交流や異文化交流事 業の実施数	国際交流や異文化交流などに関する事業の実施数。新たな国際交流グループの新設による事業の拡充を目指します。
27	国際協力・支援事業の実施 数	国際協力・支援事業に関する事業の実施数。災害復興支援事業の拡充を目指します。
28	平和を学ぶ取組みを推進 する市内小中学校の数	平和の尊さや大切さを学ぶ機会や取組みを推進する市内小中学校の数。市内の全小中学校で平和を学ぶ機会や取組みの充実を図りながら、継続して行うことを目指します。
29	平和パネル展開催時にお ける署名者数	市民に平和の尊さを訴えるパネル展における平和に関する署名数。開催場所や時期を工夫することにより、実績値を維持することを目指します。
30	審議会などへの女性の登 用率	審議会などの委員として登用されている女性の割合。平成34年度(2022年度)には35%以上を目指します。
31	年間あたりの、地元要望に よる用排水路・ため池など の整備実施率	地元から要望のあった用排水路・ため池などの整備実施率。施設の老朽化に伴い地元要望は増加しており、地区により要望内容にばらつきがありますが、平成27年度(2015年度)の実施率の維持を目指します。
32	認定農業者数	認定農業者の数。2年間で1人の認定農業者の育成を目指します。

調査票1 目標指標の解説

整理番号	目標指標	説明・算定式・把握方法
33	農産物ブランド対象種数	ブランド化できそうな農産物の種類の数。現状の2種類(桃、じねんじょ)から倍増の4種類を目指します。
34	農用地内耕作放棄地の面積	農地パトロール(現地調査)による耕作放棄地の面積。平成27年度(2015年度)実績値の半減を目指します。
35	学校給食での地元農産物使用量	学校給食における市内の朝市出店農家が生産・納品した地元農産物の使用量。平成27年度(2015年度)実績値から毎年1%の増加を目指します。
36	商店数	「商業統計調査」による商店数。現在、商店数が減少している実態に加えて、今後の超高齢化及び人口減少社会が進展するなかにおいて、平成26年度(2014年度)実績値の維持を目指します。
37	商工業融資件数	小規模企業等振興資金(旧商工業振興資金)の融資件数。社会経済の動向の影響が大きいため、リーマンショック後の融資件数の平均値の維持を目指します。
38	事業所数	「経済センサス基礎調査」による事業所数。現在事業所数が減少している実態に加えて、これからの超高齢化人口減少社会の進展のなかにおいて、平成26年度(2014年度)実績値の維持を目指します。
39	商工業融資件数	小規模企業等振興資金(旧商工業振興資金)の融資件数。社会経済の動向の影響が大きいため、リーマンショック後の融資件数の平均値の維持を目指します。
40	公共により整備された工業用地面積	県及び市により整備された工業用地と地区計画※の策定により整備された工業用地の合計面積。これまでの製造品出荷額等の伸び率を今後も確保するために必要な新しい工業用地の確保を目指します。
41	工業用地に立地した事業所	工業用地に立地した事業所の数。新たに拡大した工業用地や、既存の工業用地で未利用な用地へ新しい事業所を誘致することで、製造品出荷額等の伸び率の確保を目指します。
42	犬山城登閣者数	犬山城の年間登閣者数。平成27年度(2015年度)実績値の維持を目指します。
43	木曾川うかい観覧者数	木曾川うかいの年間乗客数。年間3万人の水準を目指します。
44	ホームページ閲覧者数	市観光情報(一般社団法人犬山市観光協会)ホームページの1日の平均閲覧者数。スマートフォン用ホームページによる情報発信の充実を図ることで、年平均5%増を目指します。
45	観光案内所の利用者数	市内に設置されている観光案内所の利用者数。観光案内所の利便性を高めることにより利用者の拡大を図り、年間20万人の利用を目指します。
46	従業者総数	「経済センサス基礎調査」による従業者総数。現在事業所数が減少している実態に加えて、これからの超高齢化及び人口減少社会の進展のなかにおいて、工業用地の拡大などにより新しい事業所を誘致することで従業者数の増加を目指します。
47	福祉教育参加延べ人数	犬山市社会福祉協議会が行う福祉実践教室と福祉体験学習の参加延べ人数。福祉実践教室など福祉教育の充実や啓発を推進し、過去4年間の実績における最高参加者数を上回る2,700人を目指します。
48	福祉ボランティア登録人数	犬山市社会福祉協議会のボランティアセンターに登録している福祉ボランティアの人数。当初現状値から約120人の増加を目指します。
49	民生児童委員による相談・支援延べ件数	民生児童委員の活動記録票の集計数。過去5年間の平均増加件数を上回る毎年30件程度の増加で合計380件増を目指します。
50	避難行動要支援者台帳登録人数	犬山市地域防災計画に基づく台帳に登録した人数。地域の支援者との連携を進め、支援体制の強化を図りながら、平成28年度(2016年度)対象者の約半数にあたる1,100人を目指します。

調査票1 目標指標の解説

整理番号	目標指標	説明・算定式・把握方法
51	福祉会館機能の分散・移転	福祉会館の多様な業務や機能を目的別に集約し、既存の他施設への分散・移転を進めます。
52	養護老人ホームの整備方針の決定	平成28年度(2016年度)に「民営化計画」を策定し、プロポーザル方式により事業者(社会福祉法人)を選定して、平成31年度までに民営化を進めます。
53	公益社団法人犬山市シルバー人材センター業務受託件数	高齢者への就業の提供及び健康増進と社会交流を図る公益社団法人犬山市シルバー人材センターの業務受託件数。安定した会員の確保と事業運営を図るため、就労機会を確保します。
54	高齢者タクシー料金助成利用者	高齢者の足を確保し、外出支援、社会参加を促す事業として、85歳以上のタクシー利用料金の助成を行うもので、利用については、過去3年間の水準を維持します。
55	緊急通報システム設置台数	緊急時に消防署へ通報が可能な機器を設置することで、高齢者の在宅での安心した生活を確保するもので、設置台数を計画策定当初の設置水準まで伸ばします。
56	高齢者あんしん相談センター相談件数	来所・電話・訪問の相談援助実績。過去3年間の実績を維持できるよう相談体制を整えていきます。
57	認知症サポーターの人数	認知症サポーター養成講座を受講した人数。認知症の人や家族を見守ってもらえるよう、地域住民をはじめ、市内で働く人、小・中・高校生など様々な人に受講を促し、サポーター数を増やします。
58	介護保険サービス利用者数	要介護認定を受けサービスを利用する人数。3年ごとに策定する介護保険事業計画にて計上した将来的な見込値を目標値とし、サービスの充実を目指します。
59	介護相談員受入事業所数	市内の介護保険サービス事業所のうち介護相談員の派遣を受入れた事業所数。8箇所の新規受入れを目指します。
60	地域子育て支援拠点施設利用者数	子育て支援の拠点となる10施設の年間延べ利用者数。乳幼児数の減少と女性の社会進出に伴う就園率の上昇による利用者実数の減少が予想されますが、拠点施設の機能充実を図ることで、一定の利用数を目指します。
61	ファミリー・サポート・センター援助会員数	ファミリー・サポート・センター事業の援助会員数。年度により依頼件数は増減するものの、いつでも対応できるようにするため、当初の登録者数から算出した毎年5人程度の増加を目指します。
62	病児・病後児保育実施	病後児保育のみでなく、病児保育の実施を目指します。
63	子ども未来園入園児数(0～2歳)	低年齢(0～2歳)の園児数。乳幼児数は年々減少していくことが予測されますが、低年齢児保育の需要は高くなっています。一方で、民間での受入れ枠が拡大したため、平成27年度(2015年度)実績値と同程度の乳幼児の受け入れ継続を目指します。
64	地域交流事業実施回数	児童館・児童センターが地域と連携して行う行事の開催回数。7つの児童館・児童センターが年間10回程度の交流事業を継続して実施することを目指します。
65	放課後児童クラブ延べ利用者数	放課後児童クラブの年間延べ利用者数。児童クラブを統合し、小学校の余裕教室に移設することによって設置箇所数は減少しますが、活動内容は平成27年度(2015年度)の水準を維持します。
66	就業中の障害者数(犬山公共職業安定所管内)	犬山公共職業安定所に登録している障害者の就業人数。平成25年度(2013年度)から平成27年度の3年間における平均増加数は92人であるため、毎年90人ずつの増加を見込み1,840人を目指します。
67	障害者タクシー料金助成利用者数	障害者タクシー料金助成事業の利用者数。過去3年間におけるタクシー料金助成利用者の増加は年3人程度であるため、毎年3人程度の増加を目指します。
68	障害福祉サービス利用延べ件数	障害福祉サービスの延べ利用件数。平成25年度(2013年度)から平成27年度の3年間における平均増加件数は110件であるため、毎年110件程度の増加を見込み6,600件を目指します。

調査票 1 目標指標の解説

整理番号	目標指標	説明・算定式・把握方法
69	児童発達支援利用延べ回数	児童発達支援事業の延べ利用回数。平成 22 年度の施設増築以降、6割弱の増加となりましたが、民間児童発達支援事業所の開設があることから、平成 27 年度の利用水準維持を目指します。
70	生活保護率	人口 1,000 人当たりの生活保護者数。‰(パーミル)※で表示。本市の保護率は国及び県よりも低い状況ですが、無年金の高齢者や非正規雇用の増加など、社会情勢の変化等によって、保護率は年々上昇しています。 今後、保護率はさらに上昇していく見込みですが、被保護者の自立支援の取組みによって、増加率の上昇率の抑制を目指します。
71	国民健康保険加入者数	国民健康保険の加入者数。当初、廃止が想定されていた後期高齢者医療制度が存続となり、75 歳以上の高齢者の国民健康保険への加入が見送られたため、加入者数に対応した国民健康保険体制を目指します。
72	特定健康診査受診率	特定健康診査受診者数／対象者数。「特定健康診査等実施計画」(平成 25 年度(2013 年度)～平成 29 年度)及び実績値に基づいた目標値を目指します。
73	年金相談件数	各種年金相談の利用件数。通常の相談(死亡時の相談が多い)に加え、今後、国が行なう年金制度改革等に対応するため、相談体制の充実を目指します。
74	保険料納付率	国民年金保険料の納付率。全国的な傾向である納付率の低下に歯止めをかけ、平成 21 年度(2009 年度)の実績値から、毎年 0.3%の向上を目指します。
75	福祉医療助成対象者数	障害者、子ども、母子父子家庭、精神障害者、後期高齢者福祉医療の対象者数の合計。平成 21 年度(2009 年度)以降の各福祉医療制度助成対象の拡大を踏まえ、人口の増減率や障害者手帳発行数の伸び率などを加味して目標値を設定し、福祉医療の充実を目指します。
76	福祉医療助成額	障害者、子ども、母子父子家庭、精神障害者、後期高齢者福祉医療の助成額の合計。平成 21 年度以降の各福祉医療制度助成対象の拡大を踏まえ、人口の増減率や障害者手帳発行数の伸び率などを加味して目標値を設定し、福祉医療の充実を目指します。
77	砂防河川工事件数	県による砂防河川工事件数。未整備箇所について実績値を上まわる整備を目指します。
78	ため池の耐震対策必要箇所数	耐震対策が必要な市内のため池の数。安全・安心な生活を築くため、改修工事を行い、耐震性に不安のあるため池を解消することを目指します。 ※平成 25 年度(2013 年度)・平成 26 年度にため池耐震調査を実施した結果、対策が必要なため池が増加したことにより、実績値(平成 27 年度)が増加。
79	新郷瀬川の整備進捗率	郷瀬川と新郷瀬川の合流地点から富士橋までの整備延長(4.4km)に対する実施率。平成 34 年までの完成を目指します。
80	道路冠水発生区域対策数	市内で雨水排水状況が悪く道路冠水などが発生する地区への対策数。これらの地区へ計画的に対策措置を実施することで目標値である 10 地区での実施を目指します。
81	地元要望危険箇所数	地元から要望のあった治山工事対象となる危険箇所数。これらの箇所に治山対策を実施することで地元から要望のあった危険箇所をなくすことを目指します。
82	急傾斜地崩壊危険箇所における基礎調査実施割合	市内の「急傾斜地崩壊危険箇所」(371 箇所:(人家あり:151 箇所))に対する現地調査の実施状況の割合。災害が発生する危険性の高い箇所や人家が周辺にある箇所を優先的に行い、平成 31 年度(2019 年度)には基礎調査実施割合 100%の達成を目指します。
83	土石流危険渓流箇所における基礎調査実施割合	市内の「土石流危険渓流箇所」(107 箇所:(人家あり:51 箇所))に対する現地調査の実施状況割合。災害が発生する危険性の高い箇所や要支援者施設、人家が周辺にある箇所を優先的に行い、平成 31 年度には基礎調査実施割合 100%の達成を目指します。

調査票1 目標指標の解説

整理番号	目標指標	説明・算定式・把握方法
84	交通事故(人身)発生件数	愛知県警察本部の発表による犬山市内における交通事故(人身)の発生件数。様々な交通安全運動を実施することで当初現状値に対して約20%発生件数を減らすことを目指します。
85	交通事故による死亡者数	愛知県警察本部の発表による犬山市内における交通事故による死亡者数。交通安全対策を推進し、死亡者0を目指します。
86	都市計画道路における歩道整備率	都市計画道路の歩道整備済延長/歩道整備計画延長。都市計画道路の整備を進めるとともに歩道整備を進めることで実績値からの上昇を目指します。
87	放置自転車数	17箇所の駐輪場における放置自転車の数。交通指導員が毎週駐輪場の整理を実施することにより減少を目指します。
88	反射鏡設置	反射鏡の設置数。地元要望を調整しながら毎年15基程度の設置を目指します。
89	自主防犯パトロール団体数	愛知県の発表による自主防犯パトロール団体数。犬山警察署と連携して、策定当初の現状値から毎年2団体程度の増加を目指します。
90	水道施設の耐震化率	耐震済主要水道施設/主要水道施設(13施設)。主要水道施設の耐震化を進め、目標年次の平成34年度(2022年度)においては耐震化率38.5%の達成を目指します。
91	下水道管きょ重要路線の耐震率	重要路線耐震延長/重要路線。犬山市下水道地震対策基本計画(平成23年度～平成35年度)に基づき重要路線の耐震化率77%の達成を目指します。
92	防災倉庫の設置数	主に避難所、広域避難場所に隣接した防災倉庫の設置箇所数。毎年1箇所ずつの増加を目指します。
93	防災備蓄食料数	市が備蓄する非常食(主食)の数。人口の10%の3日分の非常食備蓄を目標に毎年4,000食の増加を目指します。
94	自主防災組織設立町内会数	市内全町内会のうち自主防災組織を設立している町内会数。毎年2箇所程度の増加を目指します。
95	防災用倉庫設置補助団体数	防災用倉庫設置補助金交付要綱に基づく防災用倉庫設置補助団体数。2年に1箇所ずつの設置を目指します。
96	消防水利の充足率	現有消防水利数/基準数(消防水利の基準により算出した市街地に必要な消防水利数670基)。消防水利(防火水槽・消火栓)を年3基以上設置し、既存の消防水利についても、常時使用できるように維持管理、更新などを行います。愛知県内消防本部の充足率の平均(平成27年度(2015年度)80%)は上回りましたが、今後も充足率の上昇を目指します。
97	消防団員の充足率	現有消防団員数/条例定数(178人)。地域防災力の要となる消防団員を常に確保することを目指します。
98	自主防災訓練指導実施率	訓練実施数/自主防災組織。自主防災組織の65%での実施を目指します。
99	運用救命士(消防署に配備され、現場に出場する救急救命士)	実際に救急車に搭乗する救急救命士の人数。3台の救急車に常時2人の救急救命士が乗車することが可能となる数を目指します。
100	外来種駆除実施回数	外来種駆除事業を実施した回数。実施回数の上昇を目指します。
101	環境学習・人材育成講座などの開催	環境学習や人材育成講座の実施回数。週1回の学習講座などの実施を目指します。
102	新しく整備する公園の数	市内に新しく整備する公園の数。新しく公園を5箇所整備することを目指します。

調査票1 目標指標の解説

整理番号	目標指標	説明・算定式・把握方法
103	点検による遊具などの修繕率	前年度の点検において修繕が必要と判断された遊具の修繕率。安全に安心して遊具を利用できるよう修繕率100%を目指します。
104	ウォーキングトレイル事業整備率	ウォーキングトレイル事業(五条川左岸堤防を利用した遊歩道2.96km)の整備済延長/整備計画延長。整備計画延長すべての整備完了を目指します。
105	緑道整備率(犬山地内)	犬山地内の緑道(尾張広域緑道2.82km)の整備済延長/整備計画延長。整備計画延長のすべての整備完了を目指します。
106	民有地緑化の推進	あいち森と緑づくり補助事業に基づいて緑化などがされた民地の件数。新たな施策の展開により当初目標の達成を目指します。
107	クリーンタウン犬山推進事業の参加者	地域などの美化活動への参加延べ人数。当初現状値に対して年間80人の上昇を目指します。
108	アダプトプログラムの参加団体	清掃活動への参加延べ団体数。平成27年度(2015年度)実績値に対して年間3団体程度の上昇を目指します。
109	環境フェアなどの地球環境に関するイベントに参加した市民	地球環境に関係する催事への参加延べ人数。環境フェアに加え、市民ボランティアなどとの協働による啓発講座を開設し、計画策定時の現状値に対して年間25人の上昇を目指します。
110	公害防止協定の締結事業所数	公害防止協定を締結した事業所数。新たな事業者との締結を行うとともに、水質などへの影響が指摘されている事業所との協定締結に向けた協議を進めることにより、締結事業所数の増加を目指します。
111	環境調査結果で基準を満たしている割合	主要河川水質調査、主要道路交通騒音調査の調査結果に基づく環境基準を満たしている箇所の割合。すべての箇所で環境基準を達成することを目指します。
112	公害苦情申し立て件数	公害に対する苦情の申し立て件数。近年、近隣での生活騒音などの苦情が増加傾向にあり、今後、工業団地造成実現後に事業所が増加することなども勘案した上で、計画策定時の現状値に対して年間1件の減少を目指します。
113	合併浄化槽の普及率	下水道接続以外の合併処理浄化槽の設置割合(合併浄化槽設置基数/(くみ取り戸数+単独基数+合併基数)×100)。平成27年度(2015年度)実績値から毎年度、0.5%の増加を目指します。
114	美化センターへ搬入されるごみの量	都市美化センターへ搬入されるごみのうち、リサイクルされる資源物や危険ごみ・有害ごみを除いた量。平成27年(2015年)3月に策定した犬山市一般廃棄物処理基本計画のごみ排出目標値以下を目指します。
115	市民1人当たりの家庭系可燃ごみ排出量	人口当たりの都市美化センターに搬入される可燃ごみの量。平成27年(2015年)3月に策定した犬山市一般廃棄物処理基本計画のごみ排出目標値以下を目指します。
116	資源物のリサイクル率	ごみ総排出量中の資源物としての市による回収量の割合(県の廃棄物処理事業実態調査に基づく数値)。小売店店頭での資源物回収も行われていますが、市による回収割合も当初現状値に近い25%の維持を目指します。
117	駅前広場の整備箇所数	駅前広場が整備されている箇所数(市内駅数7箇所)。整備箇所の増加を目指します。
118	公共により整備された工業用地面積	県及び市により整備された工業用地と地区計画の策定により整備された工業用地の合計面積。これまでの製造品出荷額等の伸び率を今後も確保するために必要な新しい工業用地の確保を目指します。
119	地区計画区域内道路の整備率	地区計画区域内における道路の整備計画延長(5,772m)に対する整備済み延長の割合。整備済み延長の上昇を目指します。

調査票1 目標指標の解説

整理番号	目標指標	説明・算定式・把握方法
120	景観地区数	景観地区に指定された地区数。景観形成促進地区※に指定された地区において、さらに積極的に良好な景観の形成を図っていくため1地区の指定を目指します。
121	景観形成促進地区数	景観形成促進地区に指定された地区数。犬山市景観計画に定める城下町ゾーンにおいて期限を定め意欲的に良好な景観形成を推進する地区の増加を目指します。
122	都市計画道路(幹線道路)の整備率	都市計画道路(幹線道路)の総延長に対する整備済み延長の割合。整備済み延長の上昇を目指します。
123	ウォーキングトレイル事業整備率	ウォーキングトレイル事業(五条川左岸堤防を利用した遊歩道 2.96km)の整備済み延長/整備計画延長。整備計画延長すべての整備完了を目指します。
124	改築計画橋りょうの整備率	県が実施する新郷瀬川などの改修工事に伴う改築計画における改築済み橋りょうの割合。計画的に改築を実施することで100%を目指します。
125	長寿命化修繕計画による修繕箇所数	長寿命化修繕計画を策定した橋りょうに対する修繕済み橋りょうの数。建設後50年以上を経過した橋りょうの修繕を計画通り実施します。
126	鉄道利用者(乗降人員)	市内全駅での1日当たりの鉄道利用者(乗降人員)数。各駅周辺の活性化や輸送サービスの向上などを図ることで、平成27年度(2015年度)実績値29,000人前後の維持を目指します。
127	コミュニティバスの利用者数	コミュニティバスの年間利用者数。地域公共交通として最適な方法により利用者数が約3.6倍に増加することを目指します。
128	空き家バンクの成約件数	「空き家等対策計画」に基づき空き家等の流通促進のために設置した「空き家情報提供サイト(空き家バンク)」の積極活用を図りながら、成約件数の増加を目指します。(年間5件を目標)
129	集約化により廃止した市営住宅団地数	「公営住宅の取り組み」に基づき市営住宅の集約を図るため、移転等により小規模団地の廃止を目指します。
130	住宅の耐震化率	住宅の耐震化率。犬山市耐震改修促進計画に基づき、耐震性を満たす住宅が95%となることを目指します。(参考:平成25年(2013年)現在 住宅総数25,690戸)
131	年間配水管布設替延長	年間の配水管布設替延長。水道ビジョンの目標値を上回る7.5kmを目指します。
132	自己水率	年間自己水配水量/年間総配水量。給水区域の見直しにより自己水の確保を図り、目標年次において自己水率38%の確保を目指します。
133	年間有収率	年間有収水量/年間配水量。水道ビジョンの計画値を目指します。
134	五条川右岸処理区下水道人口普及率	右岸処理区の全人口に対する右岸処理区整備完了区域内の人口割合。人口普及率88%の達成を目指します。
135	不明水率	地下水、雨水などの下水道管きょへの侵入率。国の下水道設計指針に基づき、不明水率20%の達成を目指します。
136	水洗化率	下水道整備区域内人口に対する下水道へ接続し水洗化した人口の割合。同等規模人口の全国平均87%の達成を目指します。
137	預かり保育利用者数(犬山幼稚園)	預かり保育利用者の年間延べ人数。利用者が増加傾向にあるため、保護者の様々なニーズに合わせて利用しやすい条件を整えて積極的に受け入れ、子育てを支援していくために利用者の増加を目指します。
138	特別支援児受入れ数(犬山幼稚園)	実際に特別支援児として受入れている園児の数。対象児の入園希望者が増加傾向にあるため、保護者の要望に応え、条件を整えて受け入れの枠を広げ、入園児の増加を目指します。
139	老朽校舎改修箇所数	耐用年数を超過しているなど老朽化が進んでいる校舎を対象に、羽黒小学校の改修・改築工事が終了後、施設の状況に合わせて計画的に改修等を実施し目標値の達成を目指します。

調査票1 目標指標の解説

整理番号	目標指標	説明・算定式・把握方法
140	老朽付属建物等改修箇所数(体育館・プールなど)	耐用年数を超えているなど老朽化が進んでいる付属建物(体育館・プール・給食室・クラブハウス)を対象に施設の状況に合わせて計画的に改修を実施し、目標値の達成を目指します。
141	太陽光発電設備設置箇所数	太陽光発電設備が未設置な小学校(3施設)を対象に、年間1校を目途に設置し目標値の達成を目指します。
142	各種講座の参加者数	市民総合大学、公民館講座などの各種講座の延べ参加者数。平成27年度(2015年度)実績値から約1割増の6,000人を目指します。
143	各種講座の実施数	市民総合大学、公民館講座などの各種講座の実施数。平成27年度実績値から2講座増の18講座を目指します。
144	社会教育団体数	社会教育の分野で活動する市民団体数。平成27年度(2015年度)実績値から現状維持の13団体を目指します。
145	社会教育団体の活動事業日数	社会教育の分野で活動する市民団体が事業活動する年間の日数。平成27年度実績値から約5%増の600日を目指します。
146	連携した講座開催日数	大学、企業、ボランティア、地域などと連携した事業(名古屋経済大学公開講座、ICT講習会など)の年間開催日数。平成27年度(2015年度)実績値から約5%増の2,200日を目指します。
147	市民講師の登録者数	市民講師の登録者数。当初から約3倍増、平成27年度実績値から約2割増の150人を目指します。
148	犬山市青少年健全育成市民会議会員数	犬山市青少年健全育成市民会議に登録している団体会員数。平成27年度(2015年度)実績値から6団体増の40団体を目指します。
149	犬山市青少年健全育成市民会議事業参加者数	犬山市青少年健全育成市民会議が行う事業の年間の参加者数。平成27年度実績値から35人増の1,400人を目指します。
150	市民一人当たり貸出冊数	図書貸出冊数/総人口。知識情報の交流の場として来館者の増加を進め、貸出冊数の上昇を目指します。
151	市民大会参加者数	軟式野球をはじめとする21種目の市民大会の参加者数。近年、市民のスポーツへの取り組みや意識が変化している傾向があるため、平成27年度(2015年度)実績値から300人程度の増加を見込みます。
152	スポーツ少年団指導者数(登録指導者のうちの有資格者の割合)	指導者全体に占める有資格者(日本スポーツ少年団認定員)の割合。指導者の半数が有資格者であることを目指します。
153	スポーツ推進委員数	スポーツ推進委員の数。犬山市スポーツ推進委員設置規則にある定数(上限)25人を目指します。
154	屋外・屋内体育施設利用者数	屋外体育施設(木曾川犬山緑地、多目的スポーツ広場、山ノ田公園(野球場・テニスコート)、野外活動センター(グラウンド・ゴルフ場)、旧名証グラウンド(平成27年度(2015年度)廃止)、学校開放(グラウンド))と屋内体育施設(体育館、武道館、弓道場、体育センター、学校開放(体育館)、フィットネスフロイデ)の利用者数。施設総数の減少と、体育館の移設に伴うスポーツ以外の利用者数の減少などを踏まえ、平成27年度実績値より7年間で約6,500人の増加を目指します。
155	市民総合大学「歴史文化学部」への応募者数	市民総合大学「歴史文化学部」への応募者の総数。歴史に興味を持ち、市民総合大学に応募する市民が増え、平成27年度(2015年度)実績値を上回る1学科100人の水準の維持を目指します。
156	文化財の調査実施件数	文化財保存のための調査実施件数。文化財を保存するため、民俗文化財、埋蔵文化財・記念物、建造物を中心に継続した調査の実施を目指します。

調査票 1 目標指標の解説

整理番号	目標指標	説明・算定式・把握方法
157	指定・登録文化財の保存・修理に対する補助件数	文化財保存修理に関する補助件数。民俗文化財、建造物の伝承保存を一層推進するため、年間補助件数の拡充を目指します。
158	歴史・文化施設の自主活動事業	歴史・文化施設を会場とした市民団体などの自主的な活動の実施回数。市民の歴史や文化財に対する意識を高めていくため、活動回数の増加を目指します。
159	伝統的建造物の修理・修景(累計)	伝統的建造物の修理・修景に関する助成件数。伝統的な建造物については、犬山市歴史的風致維持向上計画に基づく指定を行い、長期的な視点で計画的に修理・修景を行うことを目指します。
160	自主事業の鑑賞・参加者数	自主事業を鑑賞及び参加した市民の年間延べ人数。平成 27 年度(2015 年度)実績値から約 700 人増を目指します。
161	市民文化会館の利用者数	今後は減少が見込まれますが、当初目標値の維持を目指します。
162	自主的活動団体(団体数)	犬山市文化協会、特定非営利活動法人犬山市音楽文化協会に所属する団体数。平成 27 年度(2015 年度)実績値の維持を目指します。
163	自主的活動団体(会員数)	犬山市文化協会、特定非営利活動法人犬山市音楽文化協会に所属する会員数。平成 27 年度実績値の維持を目指します。